

## 都筑区民文化センター（仮称）の整備状況について

都筑区民文化センター（仮称）について、令和 5 年度の開館を目指して事業を進めてきましたが、工程に遅れが生じたため、開館予定時期を令和 6 年度として、引き続き事業を推進します。

### 1 事業概要及び経過

都筑区中川中央一丁目 9 番に所有していた市有地（約 1.2ha）を事業提案型公募にて民間事業者へ売却し、民間事業者が区民文化センターを含めた施設を整備し、完成した区民文化センターを横浜市が取得する土地活用事業です。

#### <経過>

平成 30 年 6 月 4 日	土地活用事業者公募開始
平成 30 年 11 月 26 日	土地活用事業者の決定
平成 31 年 2 月 8 日	基本協定書締結
令和元年 6 月 4 日（議決日）	土地売買契約締結

#### <提案の概要>

土地活用事業者：ボッシュ株式会社（代表企業）、  
ジョーンズラングラサル株式会社、株式会社竹中工務店

#### 施設概要：

民間施設（オフィス、研究施設）及び区民文化センター  
民間施設部分（地上 7 階地下 2 階）、区民文化センター部分（地上 4 階地下 1 階）

### 2 開館予定時期

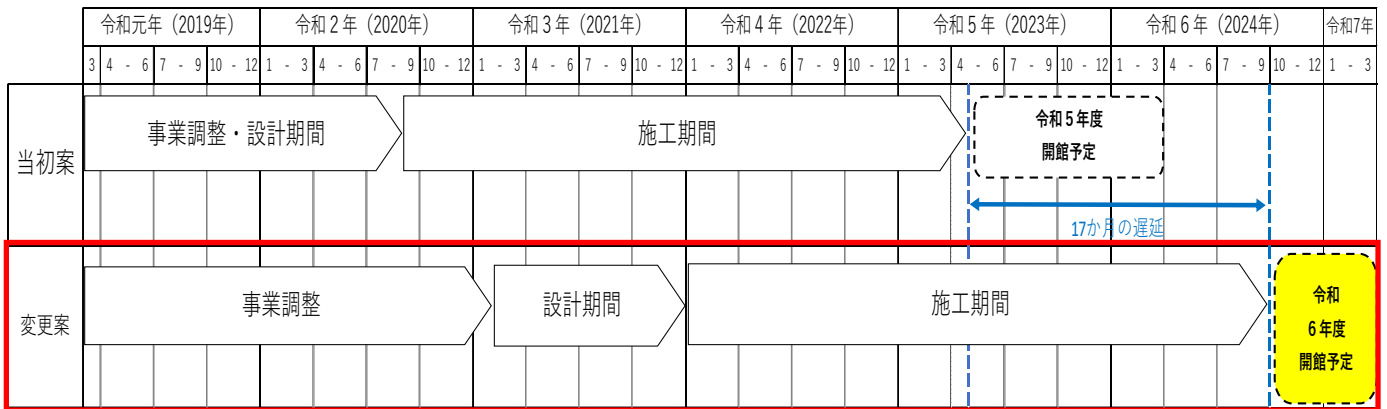
令和 5 年度の開館を目指して事業を進めてきましたが、次の理由により本格的な設計の着手が遅れたため、開館予定時期を令和 6 年度とします。

#### <事業工程が遅れた主な理由>

- ・本事業は、資金全額をボッシュグループ内で調達する提案及び計画です。土地活用事業者の決定後、経済合理性の観点からドイツ本社の指示により複数の設計施工業者にサウンディングを行うこととなりました。結果、民間施設の設計施工業者として、株式会社大林組を選定することとなり、この決定が令和 2 年 12 月となりました。
- ・代表企業であるボッシュによると、設計施工体制を決定する中で発生した新型コロナウイルス感染症の影響もあり、ドイツ本社との社員の往来も制限され、国内外含めてオンラインでの会議が主になるなど意思決定に要する時間が大幅に延長したとのことです。

### 3 整備スケジュール

- ・当初案は、令和2年9月に現地での施工を開始し、令和5年4月までに区民文化センターを本市に引き渡す予定でした。その後、本市での開館準備期間を経て、令和5年度の開館を目指していました。
- ・変更案は、令和4年1月に施工を開始し、令和6年9月までに区民文化センターを本市に引き渡す予定です。その後、本市での開館準備期間を経て、令和6年度の開館を目指します。
- ・区民文化センターの施設内容や設計施工体制に変更はありません。



#### <参考：整備予定地の概要>

所在（及び面積）

都筑区中川中央一丁目9番1及び9番2（12,036.49㎡）

土地売却価格

57億1,528万1,552円（売却済み）

#### <参考：区民文化センターの主な諸室>

ホール（300席程度）、リハーサル室、練習室、  
ギャラリー、会議室、情報コーナー等



案内図

#### <参考：区民文化センター等のイメージ>



センター北駅側からの施設イメージ  
（中央が区民文化センター）



敷地北西からの施設イメージ



敷地内広場のイメージ